

麦作技術情報 No. 4

令和6年5月14日
鳥取県産米改良協会

- 令和6年産麦の収穫予想は、平年に比べて3日程度早い。
- 向こう1か月の天候は、降水量及び日照時間は平年並の予想ですが、気温は高い見込です。
- 播種が早いほ場から順次収穫を行うなど、適期収穫を励行しましょう。

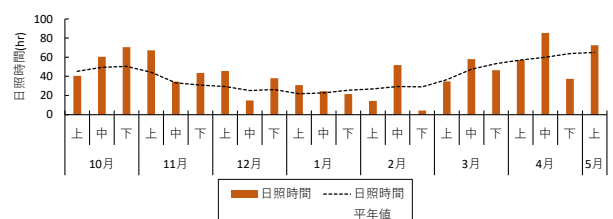
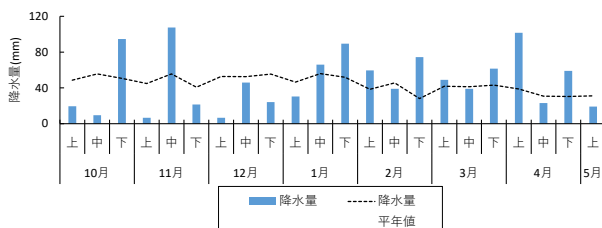
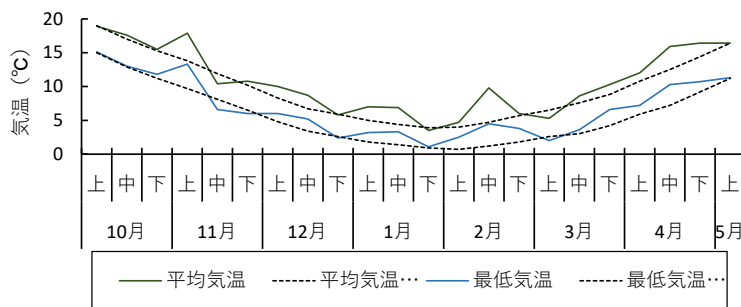
○農作業安全を徹底しましょう

- ・ほ場や農業機械の安全点検、熱中症の防止を図りましょう。【参考資料 2】

○適期収穫と適切な乾燥調製

- ・令和5年秋播の麦は、11月下旬から2月上旬まで気温が平年並～やや高めで推移し、1月に降雪があったが積雪期間は短かった。12月中旬に日照不足が見られたが、11月中旬から1月中旬にかけて日照時間は平年を上回り、11月初旬播の生育は平年並み～やや早い状況である。出穂後の気温は高く、日最低気温も高めで経過しており、日照時間は4月下旬を除いて平年並～多めで、湿害を回避できたほ場の登熟は概ね順調である。
- ・適期収穫できるかどうかで品質が大きく左右され、高品質麦生産の鍵を握るので、収穫適期の見極めと、適切な乾燥調製を徹底すること。

I 天気概況



1 現在までの気象状況

麦出穂後の3月下旬から5月上旬の気象は、平年に比べて降水量が多く（平年比 169%）、平均気温は平年よりやや高かった（平年比+1.3℃）。日照時間は多く（平年比 112%）経過した。

2 天気予報

中国地方 1か月予報 (5月11日から6月10日までの天候見通し)

令和6年5月9日
広島地方気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

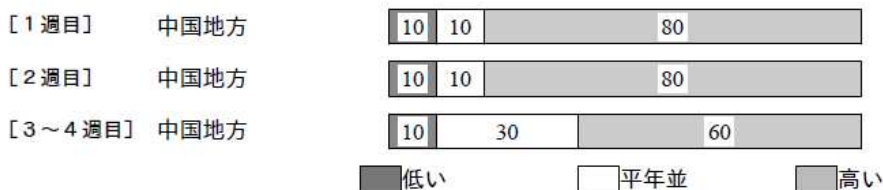
天気は数日の周期で変わると見られます。

向こう1か月の平均気温は、高い確率80%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率80%です。3～4週目は、高い確率60%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



II 生育概況

1 二条大麦

○農業試験場

・農業試験場 11月9日播種「しゅんれい」の出穂期は4月3日で、穂揃期は4月5日であり、播種が平年(11月3日)よりやや遅かったことと11月中旬の降雨と低温の影響で、過去5年平均と比較すると出穂期で7日程度遅かった。一方で、11月下旬以降の暖冬傾向により、穂揃期の穂数は過去5年平均と比較して多く、葉色は淡いが草丈が高くなっている。

○現地ほ場

・中部地区「しゅんれい」の出穂期は、11月初旬播種で3月24日～3月27日頃となっており、暖冬の影響で平年より生育進展がやや早く、湿害を回避したほ場では、平年に比べ、穂数が多い印象である。一部で網斑病の発生や穂孕み～出穂時の低温による部分不稔が見られ、一部の地域において、出穂後の高温多湿による赤かび病の発生が散見される。赤かび病の被害拡大を防止するために、適期収穫の徹底が必要である。

2 小麦

・西部地区の小麦は11月上旬播種の「はる風ふわり」で、出穂期は4月6～8日となっており、昨年並からやや早い生育進展となった。黄斑病の発生は少なく、生育は概ね順調である。
・赤かび病対策として、現時点で基幹防除適期(①開花始～開花期、②1回目散布の7～10日後)を経過した状況で未防除のほ場は、直ちに防除を実施する。

Ⅲ 技術対策

本県産麦の最重要課題は高品質化である。そのための最終作業である収穫・調製作業については、降雨等の気象情報に注意し、収穫作業が円滑に進むよう、事前にコンバインの整備や種子混入時の選別が難しい雑草(カラスノエンドウ及びヤエムグラ等)の抜取など準備を行っておく。

1 収穫

11月上旬播種の大麦収穫適期目安

令和6年5月13日現在

品種	産年	出穂期	出穂期～ 成熟期日 数	出穂期～ 成熟期積 算気温	成熟期目安	収穫適期目安
		月日	日	℃	月日	月日
二条大麦 (しゅんれい)	過去10年平均	4月5日	48	765.7	5月23日	6月1日 ～ 6月3日
	令和6年産	4月3日	45		5月18日	5月27日 ～ 5月29日

注1) 令和6年産の成熟期目安は過去平均の登熟期間と出穂期～成熟期積算気温の過去平均から推定した。

注2) 積算気温は出穂期を起算日とし、5/12以降の平均気温は1か月予報に基づいて過去10年平均並で算定した。

注3) 収穫適期目安は二条大麦は成熟期+9～11日

(1) 刈取適期の判定

・収穫適期は、子実が熟色となり、茎葉の青味がとれ、大部分(80%以上)の穂首が90度以上曲がった頃で、適期幅は3～5日と短いとされている。中部地区の実績から刈取適期は成熟期から9～11日後とする。

【参考資料1参照】

・ビール麦は収穫時に損傷を受けると発芽勢が落ちて品質上問題となるので、子実が硬くなる穀粒水分25%以下の状態で刈取りを行い、コンバイン抜胴回転数は機種所定の麦収穫適用範囲(水稻より下げる)に設定する。

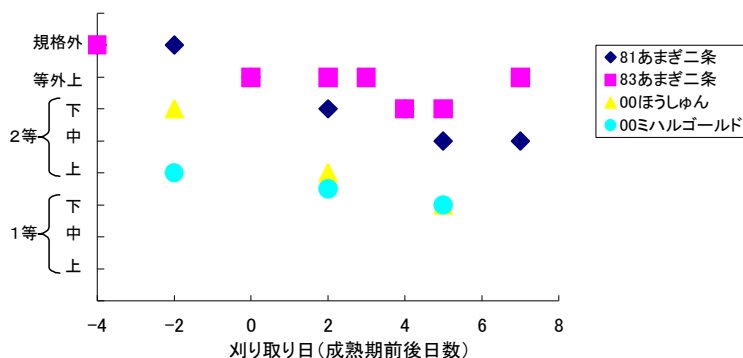


図 ビール麦刈り取り日と検査等級(福岡農総試)

(2) 品質低下の防止

- ・刈取適期より早く収穫すると、子実の充実度不足や色浅未熟等により下位等級に格付けされやすくなる。
- ・凸腹粒は成熟期以降の降雨には影響しない。
- ・ほ場による成熟程度のばらつきがある場合、成熟期の異なるほ場を同じ日に刈り取らない。
- ・倒伏の著しいほ場や熟ムラのあるほ場は、通常のは場と分けて収穫し、調製施設でも区分して荷受けすることで、品質が不良な子実がなるべく混ざらないように注意する。
- ・好天が予想される場合は、熟れの遅い部分に合わせて収穫する。ただし全体に遅穂が多いような生育の場合は、強勢穂を基準にして遅穂が登熟する前に収穫する。

2 収穫後、乾燥調製まで

- ・高水分のまま放置された麦は、保管中に発芽障害を起こしやすいので、刈取後2時間以内には乾燥施設に張込み、乾燥開始までは常温で通風する(ビール麦)。また、刈取当日に必ず乾燥作業を開始する。
- ・収穫後高水分の子実で、かび毒が増加する可能性があるため、可能な限り速やかに乾燥する。

ビール麦「しゅんれい」の刈取適期表(倉吉農業改良普及所作成)

平成27年産 倉吉農業改良普及所調査データ

		立毛状況	穂の状況	粒の状況	水分 (%)	備考
成熟期 (5/25)					24.9	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首は緑がほぼ抜ける ・穂首の曲がり0度 ・チリメンジワがよっていない粒がある
成熟期 2日後 (5/27)					19.3	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首は緑が抜ける ・穂首の曲がり20～30度 ・チリメンジワが少ない
刈取厳禁 (発芽勢低下)	成熟期 4日後 (5/29)				15.8	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり20～45度 ・チリメンジワが確認できるが、爪で押すと爪跡が残る粒が多い
	成熟期 7日後 (6/1)				18.1 (2日前降雨あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり30～65度 ・穂首の曲がり具合にばらつきがある ・チリメンジワが増え、粒の大半が堅い ・ほ場全体を見ると芒がキラキラ見える
現地の 刈取時期	成熟期 9日後 (6/3)				19.9 (当日降雨あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり60～80度 ・穂首の傾きが概ね揃う ・チリメンジワは多く、粒は全てが堅い ・ほ場全体を見ると芒が目立ちにくくなる
	成熟期 11日後 (6/5)				19.7	<ul style="list-style-type: none"> ・穂首の曲がり100度以上 ・チリメンジワは多く、粒は全てが堅い ・芒が概ね見えなくなり、穂首のアーチの頂点が見えるため、ほ場全体が茶色っぽく見える ・やや粒の光沢がなくなる



※調査ほ場 鳥取県倉吉市古川沢

※播種日 2014年11月15日、出穂期 2015年4月14日

※水分は5回計測後の平均値(株式会社ケット科学研究所 米麦水分計ライスタm)

※成熟期11日後の写真のみ諸事情により調査場所が異なる(ほ場は同じ)

【参考資料2】

○農作業事故防止を徹底しましょう！

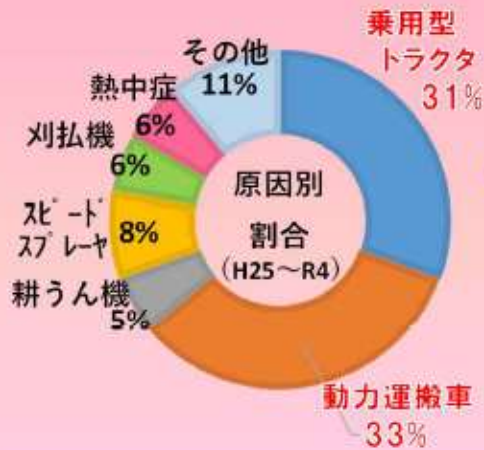
3月1日～5月31日まで春の農作業安全運動期間です。



(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.1)より

(一社)日本農村医学会編「こうして起こった農作業事故」(No.Ⅲ)より

★ 鳥取県における農作業中の重大事故



◎ 乗用機械での横転やひかれ・挟まれ事故が多い。

◎ 死亡事故は70歳以上が大半



※県に報告のあったもの。(R5年度は11月末現在)

- 大切なものを失う前に...
- ★ 安全な操作・作業方法を再確認！
 - ★ ほ場等の危険箇所を把握！
 - ★ トラブル対応時はエンジン停止！

鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会

事務局

鳥取県農林水産部経営支援課

電話0857-26-7327

JA鳥取県中央会農業くらし対策室

電話0857-21-2607

令和6年1月発行

自分自身が注意するのはもちろん、家庭や地域などでも声をかけあって、みんなで農作業安全に取り組みましょう！

【トラクター】

安全作業のポイント！

- ① **安全キャブ・フレームとシートベルト着用の徹底**
(安全キャブ・フレームとシートベルト着用で、万が一の突発的状況でも死亡事故を回避)
- ② **危険箇所のチェック**
(移動経路やほ場の危険箇所を事前確認及び共有し、改善・補修や目印の設置など)
- ③ **ほ場進入路の幅・勾配の改善・補修**
(トラクター事故で最も多い転落転倒は、ほ場出入り時に発生)
- ④ **ほ場作業が終わったらブレーキ連結**
(ブレーキ連結は、必ずほ場を出る前に実施)
- ⑤ **低速車マークや反射板(シール)を装備**
(自動車から見にくいいため、道路上で追突される事故が発生)
- ⑥ **公道走行は、機械の大きさに応じた免許が必要**
(幅1.7m、長さ4.7m、高さ2.0m、最高速度15km/時を超える機械での公道走行には大型特殊免許が必要)



【動力運搬車・スピードスプレーヤ】

安全作業のポイント！

- ① **発進前に走行レバーの進行方向と緊急停止の方法を必ず確認**
(逆方向に動いてあわてて停止できず、ひかれ、挟まれによる事故が多い。)
- ② **前進・後退時には進行方向や足下の状況を必ず確認**
(転倒や物と機械の間に挟まれる事故を防ぐため、進行方向や足下の障害物に注意)
- ③ **エンジン始動時の操作レバーは中立**
(始動時の急発進によるひかれ、挟まれによる死亡事故が多い)
- ④ **発進時にハンドルの向きを必ず確認**
(思っている方向と逆に動く危険なため、走行前にハンドルの位置を必ず確認)
- ⑤ **道路上の走行はなるべく避ける**
(公道を走れる機種と、走れない機種があることに注意)



★非常時は、誰しもあわてて冷静な判断が難しくなります・・・

日頃から命を守る行動を重視し、トラブルの際は無理せず、必ずエンジンを停めて対応しましょう！

農機具盗難にも注意！

農機具は目につきやすい場所に置かず、使用後は鍵のかかる小屋や倉庫に保管しましょう。

協議会からのお知らせ【農作業安全研修の希望について】

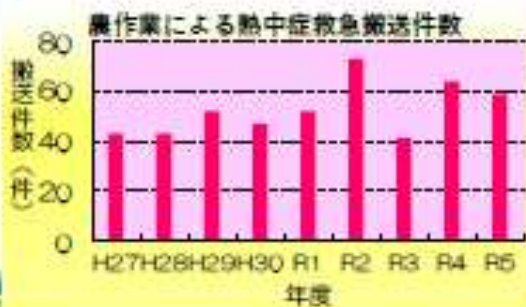
農作業事故防止のため、協議会では集落営農組織や法人等を対象にした対話型研修の実施を推進し、生産者の安全意識向上を図っています。

研修を希望、また詳しく知りたい方は県協議会事務局へお問い合わせください。

<対話型研修とは>

日頃危険と感じている作業・機械操作・施設等について、仲間と話し合いながら情報共有するとともに、組織で取り組む安全行動を定めて、農作業安全に対する取組みのレベルアップを図るきっかけとしてもらうものです。

**農作業中の熱中症が
毎年多発しています！**



- ☆ 無理をすると判断力も作業効率も低下します！
- ☆ 家族など、身近な声かけから対策を始めましょう！

**高齢者の発症が
多くなっています！**



休憩と水分摂って

いい仕事

鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会

事務局

鳥取県農林水産部経営支援課

J A 鳥取県中央会 J A 支援部農業くらし対策室

電話0857-26-7327

電話0857-21-2633

農作業中の熱中症の予防管理

○ 高温時の作業を避けましょう

- 最高気温30℃以上が予想される場合、**熱中症警報**が出されます。
- 県の「あんしんトリビースール」や農林水産省の「MAFFアプリ」に登録しておく、スマートフォンに情報が提供されます。

○ こまめに休憩し、水分を補給しましょう

- 農作業には必ず水、水(保冷剤)や濡れタオルなどを持参しましょう。
- 涼しい日陰等で休憩し、**20分ごとにコップ1~2杯の水分**と適宜塩分も補給しましょう。

○ 涼しい服装で、体温を調節しましょう

- 農作業の際は帽子を着用し、汗を吸いやすく乾きやすい素材の衣服を着用しましょう。
- **空冷ファン付き着衣や冷却グッズを有効活用**し、作業中の体温を調節しましょう。

○ 作業は2人以上で行いましょう

- 急に動けなくなることがあるため、**1人での作業はできるだけ避けましょう。**
- 1人で作業する場合は、必ず、家族等に**作業場所と帰宅予定時刻を伝えましょう。**

○ 日頃から健康管理を行いましょう

- 「**おしっこカラーチャート**」で自身のカラダの脱水状態を確認して、水分補給を行います。
- 睡眠不足、体調不良、前日などの飲酒、朝食の未摂取、発熱、下痢などによる脱水などは、熱中症の発症に影響を与えるおそれがあります。

熱中症に注意!!

おしっこカラーチャート

おしっこは、体の情報が盛り沢山!!

おしっこの色は何番ですか?

もしも**3番以上**の色は、

「**水分と塩分の補給**」が必要です

尿の色	からだの状態と対応
1	正常 水分補給は、十分です。 予防のために定期的に水分補給をしましょう
2	
3	注意 脱水症への 傾向 があります。 補給の頻度を増やすこと 脱水症です。 水分補給 が必要です。 口から補給できますか?
4	
5	
6	危険 重症の脱水症です。 危険状態です。 直ぐに病院へ
7	
8	

鳥取県農作業安全・農機具溶弊防止協議会

協議会からのお知らせ

【農作業安全研修の実施希望について】

県内では毎年死亡事故を含め農作業事故が発生しています。特に死亡事故は家族にとどまらず、地域農業や法人経営に大きな影響を及ぼします。

このため、協議会では**農業者組織、法人等を対象にした研修(対話型研修)の推進**を図り、生産者の安全意識の向上と農作業安全の取組を進めましょう。

研修を希望される方、また詳しく知りたい方は、県協議会事務局へお問い合わせください。

<対話型研修とは>

日頃危険と感じている作業・機械操作・施設等について、生産者自ら仲間と意見交換しながら、安全対策についても話し合いを行います。これを基にして組織や仲間の日頃から実施する目標を定めて、みんなで取り組んでいただくきっかけとするものです。

